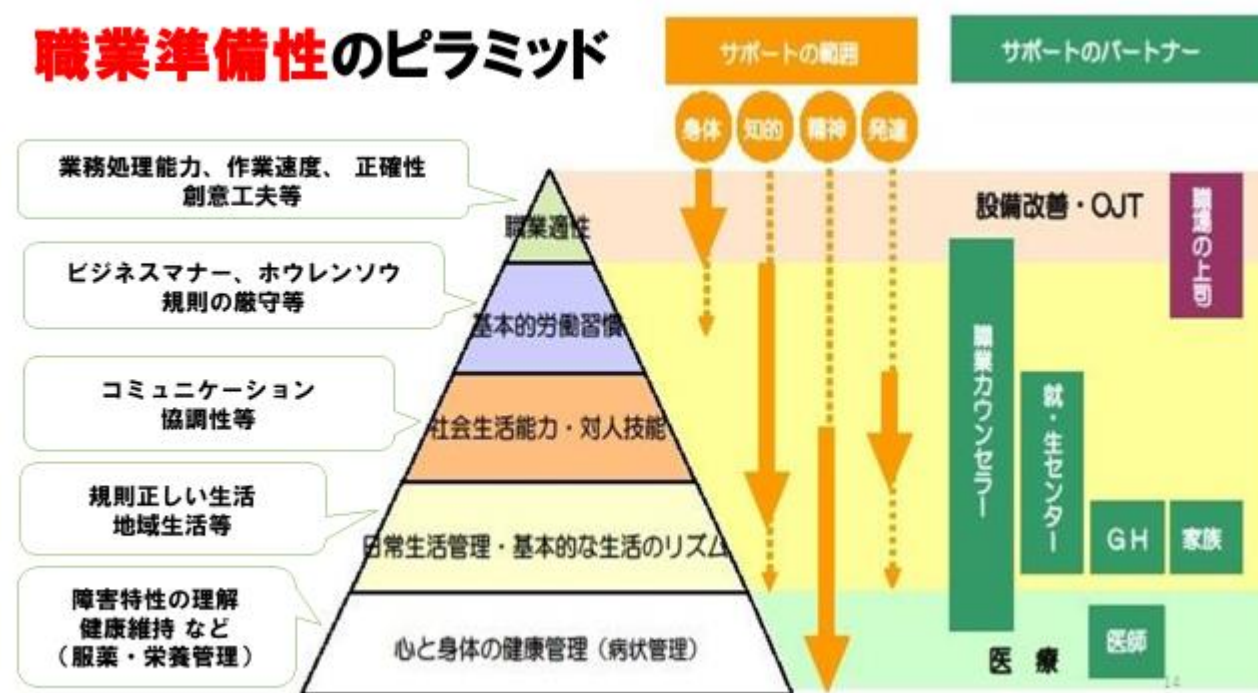


職業準備性とは ～身につけたい力の考え方～

1 職業準備性とは

職業準備（work preparation）とは「職業生活を開始するにあたって要件を準備すること。例えば職業生活をはじめていくのに必要な身体条件、体力、仕事に対する意識、上司や同僚とコミュニケーションをとっていくための能力、必要な技術、技能の獲得」があげられる。



このように職業準備性は、健康管理や、日常生活の管理、社会生活能力の向上といった幅広い内容を含んでいる。ゆえに、職業準備性の向上への取組みは、就業支援の領域だけでなく医療・保健・福祉・教育等の各専門領域や家庭でも行われる。

職業準備性を就職するためのハードルと考え、そのハードルを乗り越えないと就職に挑戦できないと単純に判断するのは危険である。個々の職業準備性を検討する際には、支援や受入れ環境との相互関係の中で見ていく必要がある。

職業生活の継続のために、本人が努力すべきこと、企業が配慮すべきこと、支援者が支援すべきことを整理するための視点として、職業準備性を捉えることが大切である。

また、職業準備性向上のためには、本人の主体的な取り組みが必要になる。